



HOFU

防府フィルハーモニーオーケストラ
第3回 定期演奏会

PHILHARMONIC ORCHESTRA

5.26 2019. | 13:30 開場
sun | 14:00 開演

アスピラート (防府市地域
交流センター) 3F 音楽ホール

DVORAK
BRAHMS



© Kenta Mukawa

ごあいさつ



本日は「防府フィルハーモニーオーケストラ 第3回定期演奏会」に御来場いただき、誠に有難うございます。

防府フィルハーモニーオーケストラは、「音楽の街 防府」を中核とする音楽愛好家達によって結成され、今年で4年目を迎えるアマチュアオーケストラです。現在では、県内外から幅広い年齢層の音楽仲間が集い、真摯に音楽と向き合いながら、和気藹々とした楽しい雰囲気の中で、練習や演奏活動に励んでおります。

さて、平成から令和へと元号も変わり、社会変革の時代に生きる私達は、音楽を通して培った豊かな感性や技能を大切にしながら、地域社会に少しでも貢献できるような活動を展開して参りたいと考えております。「令和」の公式英訳は、Beautiful Harmony (美しい調和) と外務省が先月発表したところですが、私達は今こそ共感を呼び起こす音楽の力を信じて、美しいハーモニーを追求しながら、共に考え、共に奏で、共に感じる事が、明日へ向かう活力の源になると考えております。また、音楽には、その力があると確信しております。

本日の演奏会には、防府市出身で東京都交響楽団の首席チェロ奏者であり、「防府音楽祭」の音楽監督でもある田中雅弘氏をソリストとしてお迎えし、演奏会に華を添えていただく絶好の機会を得ることができました。御来場の皆様には、シンフォニックで且つ柔らかな充実した響きを十分にお楽しみいただけるものと思っております。

終わりに、本日の演奏会に御支援・御協力を賜りました防府フィルハーモニーオーケストラ後援会の皆様方をはじめ、関係各位に衷心より厚くお礼を申し上げます。御挨拶といたします。

防府フィルハーモニーオーケストラ
団長 中島俊泰

プロフィール

角中 悦太郎 (指揮)



東京学芸大学音楽科(音楽学専攻)卒業。卒業後、山口県立高等学校教員として39年間にわたり教壇に立つ傍ら、マンドリン・ギター、吹奏楽、マーチング、弦楽、オーケストラ、合唱の各部活動を指導し、数々の実績を残す。その間山口県高文連事務局長や山口県高教研音楽部会理事長を歴任。また1978年より管楽バロックアンサンブルのメンバーとしてチェンバロを担当、25年にわたり周防大島をはじめ県内各地で演奏会を開催。

一方、防府・山口地域を中心に音楽指導に携わり、これまでに第九を歌う会「アン・ディ・フロイデ」、合唱組曲「佐佐木を歌う会」、防府音楽祭等で指揮者を務める。現在、防府弦楽合奏団、防府グリークラブ並びに防府フィルハーモニーオーケストラ指揮者として活動。山口県音楽協会常任理事、防府音楽協会副会長、防府フィルハーモニーオーケストラ副団長。

田中 雅弘 (チェロ)

山口県防府市出身。東京芸術大学卒業。第1回霧島国際音楽祭賞受賞。'81年安宅賞受賞。第52回日本音楽コンクールチェロ部門第2位。第9回ガスパール・カサド国際チェロコンクール第3位。旧ユーゴスラヴィアにて、恩師ダニール・シャフランの代理でリサイタルを行い、国際放送テレビにも放送され好評を博す。東京文化会館、カザルスホールなどでリサイタルを開催。

第13回若い芽のコンサートに出演。第9回チャイコフスキー国際コンクールチェロ部門ファイナリスト、ディプロマ賞受賞。NHK交響楽団、東京都交響楽団などと共演。これまでに故堀江泰、ハービー・シャピロ、ダニール・シャフラン、岩崎洗の各氏に師事。山口県芸術文化振興奨励賞受賞。現在、東京都交響楽団首席チェロ奏者、霧島国際音楽祭企画運営委員、防府音楽祭音楽監督。



プログラム

第1部 ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 口短調 作品104

第1楽章 Allegro

第2楽章 Adagio ma non troppo

第3楽章 Allegro moderato

休憩

第2部 ブラームス：交響曲第2番 二長調 作品73

第1楽章 Allegro non troppo

第2楽章 Adagio non troppo

第3楽章 Allegretto grazioso (Quasi andantino)

第4楽章 Allegro con spirito

ドヴォルザーク：チェロ協奏曲

ドヴォルザークは3つの楽器（ピアノ、ヴァイオリン、チェロ）のために協奏曲を書いています。通常「ドヴォ・コン」と言うと、このチェロ協奏曲を指します。それほど、彼の作品中の中でも親しまれている作品です。CD録音、演奏で取り上げられる回数の点からも他のチェロ協奏曲を圧倒しています。その分、独奏チェロの技巧的な面から見ても、40分ほどかかる演奏時間の点から見ても、チェリストにとっては大変な難曲となっています。

曲は、ドヴォルザークの他の名曲同様「望郷の念」が詰め込まれた、一度聞くと忘れられない哀愁のある名旋律に満たされています。オーケストラの書法も大変充実しています。トロンボーンやチューバの入る編成はシンフォニックな響きを生み、単なる伴奏という枠を越え、独奏チェロと一体となって豊かな情感を持った音楽を紡ぎだします。

曲の大部分はニューヨークで書かれていますが、初演はロンドンで行われています。ドヴォルザークのチェロ協奏曲については、20世紀になってもう1曲あることが分かりましたが、そちらの方はオーケストレーションも完成されていないこともあり、作品番号も付いていません。通常、ドヴォルザークのチェロ協奏曲と言えば、この口短調の作品を指します。

ブラームス：交響曲2番

ブラームスは第1交響曲を書くまでに21年もの歳月をかけましたが、第2交響曲は第1番の完成の翌年に一気に書いています。これはブラームスには大変珍しいことです。南オーストリアのウェルター湖畔の避暑地ペルチャッハで着手され、バーデン・バーデンで完成されたこの曲はその風光を反映していると言われています。第1交響曲の「苦悩から勝利へ」といった重厚で劇的な雰囲気と対照的に明るく爽やかな気分が溢れているこの曲は「ブラームスの田園交響曲」などと呼ばれることもあります。ブラームスの第1、第2交響曲についても、ベートーヴェンの「運命」と「田園」のような関係にあると言えそうです。

ただし、そこはブラームスということで、隙のない堂々とした雰囲気も持っています。余裕と自信、一気呵成の流れの良さを持った名曲です。

この曲の楽器編成は、彼の他の交響曲と違い、コントラファゴットが使われずチューバが加えられています。この効果は特に第4楽章で発揮されています。

出演者

指揮	ヴァイオラ	フルート	ホルン
角中 悦太郎	梶原 菜子	青木 優佳	奥原 和彦
	鹿島 千明	岩木 麗香	畑谷 康文
コンサートミストレス	菊地 秀之	林 知奈実	藤本 珠美
横井 英玲奈	鈴木 晶子	村元 茂美	松本 昌義
	中沢 恵美子		矢藤 碧依
第1ヴァイオリン	八木 雅子	オーボエ	トランペット
浅川 哲夫	★水津 和代	佐竹 美由紀	井上 弥恵
大谷 悠華	★濱野 妙子	水津 真理子	後藤 正彦
角中 優子		肥塚 史幸	
神原 真央	チェロ		トロンボーン
竹本 匠	今井 健	クラリネット	末永 佳嗣
道免 憲司	尾中 克則	富田 華子	山中 義典
松富 和子	加藤 由香里	富田 美紀	渡部 綾子
★上土居 宏予	西野 まどか	ファゴット	★道給 ふみ
★八木 美滯	浜口 和彦	倉田 宗幸	★宮本 敬司
第2ヴァイオリン	コントラバス	潮見 友香	チューバ
飯田 志津江	大田 祐紀	山本 綾香	★岩満 智大
川本 みか	兒玉 恵美		
河内山 愛子	芝口 英夫		パーカッション
松野 和江	末松 孝		永谷 弓恵
松平 茜	種子 美沙紀		★富田 音々
安原 由美			
★勝間田 実果			(以上 50 音順)
★藤村 彩音			★賛助出演

後援会

後援会の皆様にはオーケストラの活動に温かいご支援を頂き、この場を借りて厚く御礼申し上げます。
賛助会員のうち、掲載に同意を頂いた方のお名前を掲載させていただきます。

大村印刷(株)、協同重機(有)、齋藤段ボール(株)、医療法人 杉桑会、ショパール、医療法人 神徳会三田尻病院、中国電化工業(株)、(有) はしもと、東山口信用金庫、(株) 英友総合設計事務所、(株) プラザFM、防府天満宮、防府ロータリークラブ、枳倉産業(株)、松崎幼稚園、松下純一、松下文二、松下文正、松下良三
(以上 50 音順・敬称略)

団員募集

一緒に活動してくれる団員を募集しています! まずは、お気軽に見学にお越しください。お待ちしております!

練習場所 アスピラート [防府市地域交流センター] 2F リハーサル室

練習日 日曜日(月2回程度) 17:00 ~ 2時間程度

※詳細な練習日程はホームページにてご確認ください。

問合せ メール hofu_phil@yahoo.co.jp

ホームページ <http://hofuphil.web.fc2.com/index.html>

■フェイスブックページ



■インスタグラム

